



JAPEW推奨 ダンス授業・部活動練習ガイドライン (ver.1)

授業科目 部活名	
日・時限	
担当教員	
参加者数	
場所	
更衣場所	施設に対しての収容人数を工夫する。更衣室の利用を極力避ける。(下記、参照)

Point
施設が狭い場合には、グループに分け、生徒・学生に更衣前・更衣後の待機場所などを指示し、動線を作るとスムーズです。

Point
荷物の置き方が密になると、人も密になる機会が生まれるため、荷物の置き場所を(個別に)指定する。更衣室利用や活動中と同様、参加者の半数ずつなど、適切な人数に分割して入れ替わるなどの方法もあります。

時間	注 意 事 項		
授業 (活動) 前	どの場所でも、入り口付近に設置した手指消毒液で手指を消毒してから入室する。		
	更衣	更衣室の利用を極力避ける(運動のできる服装で登校する) 更衣中もマスクを着用する。私語厳禁	<input type="checkbox"/>
	入口	出入り口が2カ所ある教場は、前クラスとの入れ替えで重ならないように動線に注意する。	
	集合	常に2m以上の間隔を確保する(待機場所にマークを置く)。	
		参加者同士がつい近づいて交流する様子が見られたら、逐次注意喚起する。	
		健康チェック：発熱・たるさ・喉胸の痛み・味覚障害がないか、身内や身近な接触者にも同様の症状がないか	
出席確認	授業前に学校指定等のフォーマットで過去2週間の健康状態を確認する。体温測定を忘れた等の場合にはその場		
	体調不良あり⇒校内の医療施設、もしくは帰宅させる		
	体調不良なし⇒授業開始		
持ち物	マイタオル、マイボトル、マスク、マスク保管用袋を持参する。荷物収納用ポリ袋、靴袋各自持参。	<input type="checkbox"/>	
授業 (活動) 中	ドアや窓などを2ヶ所以上開ける。換気扇・サーキュレーターで空気の循環を促すことが望ましい。		
	生徒・学生同士の会話は基本的に禁止。グループワークでの会話は2メートルの間隔を保ち最小限の時間にとどめる。		
	熱中症の危険がある場合にはマスク着用を強制しないが、屋内ではマスク着用が望ましい。		
	教員は可能な限りマスクを着用する。指導法等で特に必要な場合はフェイスシールド等を併用し、飛沫の飛散を防ぐ。		<input type="checkbox"/>
	練習時の順番待ち及び教員の解説を聴く際にも常に2m以上の間隔を確保する(待機場所にマークを置く)。		<input type="checkbox"/>
	活動後の手洗いや手指消毒が済むまで、手のひらを顔に触れさせない(随時注意喚起)。		<input type="checkbox"/>
	少人数でのグループ活動を推奨(その日のグループや関わった人物を特定できるようにする。)		
	接触を伴う活動や顔同士が近づく活動は極力避け、ストレッチや補強運動なども一人でできるものに限定する。		
	接触を伴う振り付けや指導が特に必要である場合には30分以内にする。		<input type="checkbox"/>
	用具の共有は基本的に禁止する。ただしパーなどを共有する場合には、使用前後に消毒をする。または手袋を着用する。		<input type="checkbox"/>
	電灯・空調・音響機器など複数の人が使用する場合にはコントロール部分の消毒をこまめに行う。もしくは触れる人を限定する。		
音響操作は教員あるいは出来るだけ一人の担当者が行う。日頃よりも小さな音量で。		<input type="checkbox"/>	
終了時刻から逆算して時間をきちんと確保し、全員もしくは当番制で、使用した用具、床を清掃・消毒する。拭き取り用ペーパー、除菌シートなどのゴミをポリ袋等に入れて口を固く縛り、所定の廃棄場所に捨てる。		<input type="checkbox"/>	
授業 (活動) 後	体調不良者がいないかチェック。		<input type="checkbox"/>
	退出時は、授業用手指消毒液で手指消毒して退出する。その際、三密状態にならないよう注意する。		<input type="checkbox"/>
	出口	後のクラスや部との入れ替えで重ならないよう動線を確保する。	<input type="checkbox"/>
	更衣	更衣室の利用を極力避ける。更衣室を利用する場合にはマスクを着用・私語厳禁。	<input type="checkbox"/>

Point
過去の体調が把握できるように、授業、部活に必ず体温や行動歴を記載した用紙を持参させる。

体調不良者には無理せず、医務室に行くことや帰宅を指示する。評価を気にして、無理して参加するやる気あふれる生徒・学生達も見受けられるようです。
休んだり、早退することによって評価に不利にならないことを伝え、これが自分だけでなく周りの安全を守る行動であることが理解できるように指導できると良いです。

Point
2メートル間隔確保のために、床にマークを貼るのも効果的です。マークが難しい場合には、両手を広げて隣とぶつからないよう間隔を確保するよう声かけを行うと良いです。

Point
いろんな人というんな関わりを持たせたいところですが、接触する人を限定し、特定できるようにしておく

Point
複数人で一つのものを使用することは避け、特定の人に同じ場所・モノを使用させる。個数が限られる場合には、練習や授業によって使用者を振り分け限定することをおすすめします。

衛生管理物品： 検温機、手指消毒用アルコール等、物品消毒液、拭き取り用ペーパー、床除菌用モップと替えシート等

参考ガイドライン

日本ダンス医科学研究会 <https://www.iadms.org/>

👉 Return to Dance Program ~ダンスの練習再開に向けた注意事項について~

<https://www.iadms.org/return-to-dance/>